

令和5年度第1回勝山市生活交通地域協議会（書面開催）

（期 間）

令和5年12月22日から令和6年1月5日まで

次 第

1. 議題

（1）令和5年度勝山市生活交通確保維持改善計画の自己評価

※地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）とは…

- ・地域の公共交通の確保・維持、利便性の向上等の取組みについて、国が支援するために創設された事業。
- ・勝山市では平成27年にこの協議会で協議を経て国に申請し認定された。
- ・フィーダー系統とは、地域間交通ネットワークと接続する系統をいい、勝山市では、「京福バス勝山大野線」に接続している「北郷予約便」と「平泉寺・猪野瀬予約便」の2路線が対象となっている。
- ・この事業は、毎年春に計画を作成し、冬に自己評価を実施し、国から評価を受けることになっている。
- ・自己評価は前年度の事業評価結果の反映状況や、目標達成に向けた取組等を指定された様式に則って作成している。

令和5年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

勝山市地域公共交通活性化協議会 (勝山市)

平成23年 6月27日 設置

令和 4年 3月 3日 勝山市地域公共交通計画策定
(計画期間：令和4年4月～令和8年3月)

令和 5年 6月29日 フィーダー系統 確保維持計画策定等

令和 6年 1月 9日 令和5年度評価結果送付

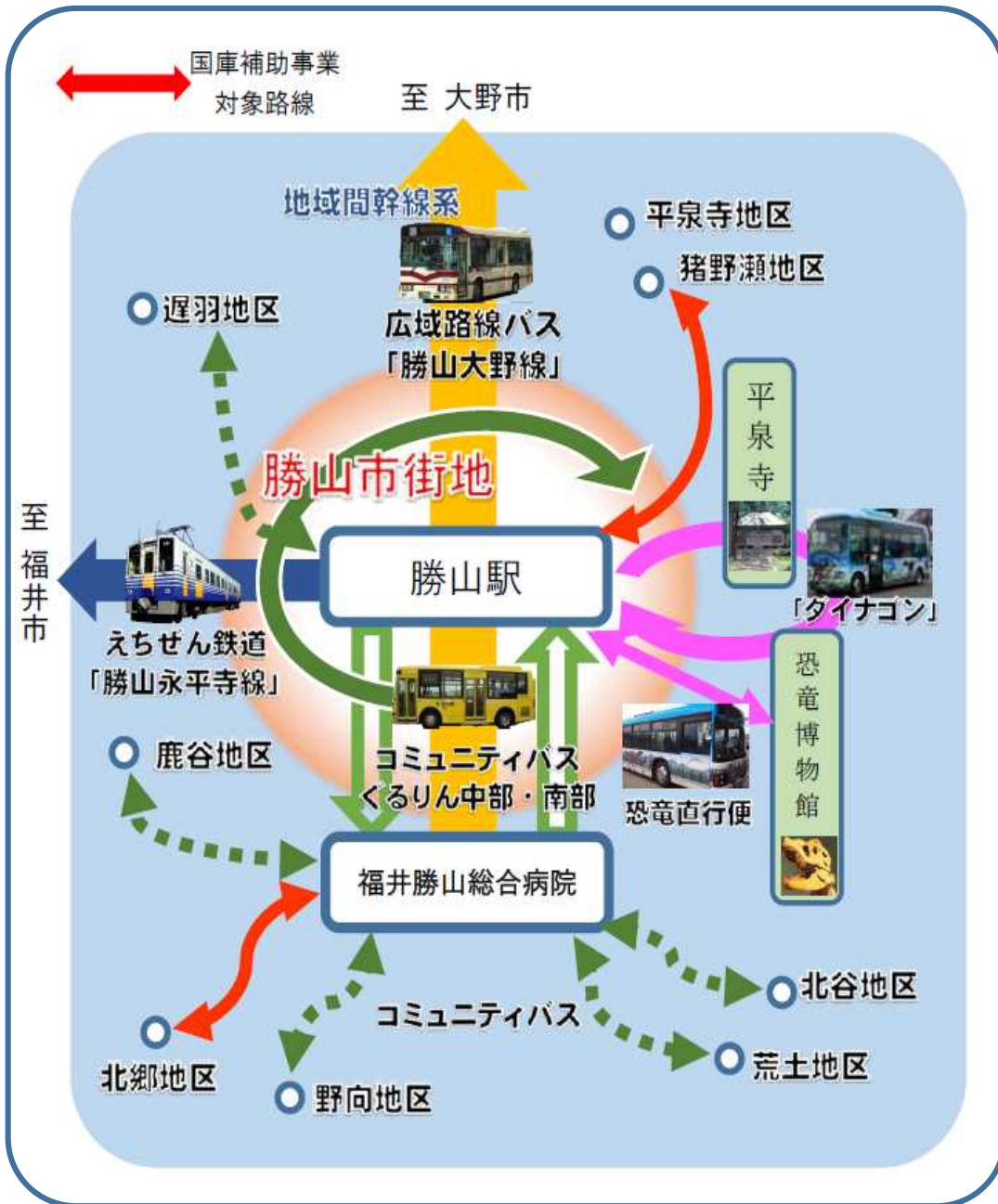
1. 【Plan】 協議会等が目指す地域公共交通の姿

【勝山市の概要】

- ・人口：21,698人（県内17市町中9位）
- ・世帯数：7,906世帯（県内17市町中9位）
- ・高齢化率：38.6%（県内17市町中4位）
- ・面積：253.88km²（県内17市町中4位）
- ・鉄道：えちぜん鉄道勝山永平寺線
- ・広域路線：京福バス勝山大野線
- ・フィーダー：コミュニティバス（10路線）
内 国庫補助対象路線（2路線）
北郷予約便、平泉寺・猪野瀬予約便
- ・観光路線：恐竜博物館直通便、
（2路線）市内観光バス「ダイナゴン」

【計画の基本方針】

- ① えちぜん鉄道交通圏地域公共交通網形成計画
（えちぜん鉄道交通圏地域公共交通計画）
- ③ 勝山市地域公共交通計画
 - ・基本方針
 - ① クルマに過度に依存した交通状況から脱却し公共交通の利用拡大
（移動の利便性が高く、クルマに頼り過ぎなくても暮らしやすい、周遊性の高い魅力ある広域観光のまちづくり）
 - ② 誰もが利用しやすい、利用したくなる公共交通ネットワークづくり
（定量的な目標はCheckに記載）
 - ・期間
 - ① 平成23年度から令和3年度
（令和4年度から令和8年度）
 - ③ 令和4年度から令和8年度



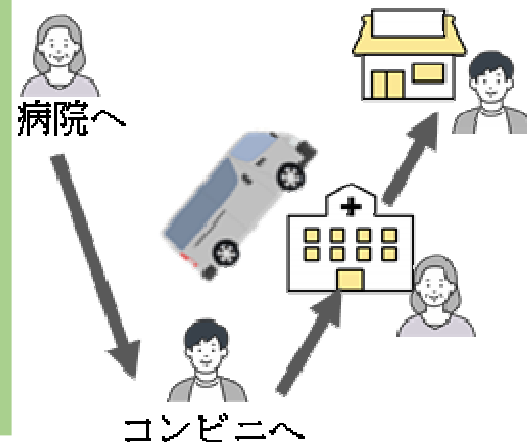
路線バスの一部路線でフルデマンド運行を開始

勝山市地域公共交通計画では策定の際に実施したアンケートで、運行本数について不満と感じている割合が半数を超えていたことから、「誰もが利用しやすい、利用したくなる公共交通ネットワークを目指す」としている。

具体的には利用者の少ない日中は市全域をデマンド交通へと再編する方針であり、このデマンド交通化への一歩として、市内路線バスの一部路線で日中のフルデマンド運行を開始。この先行してフルデマンド運行を開始した路線の利用者の反応等を通して、利便性向上や効率化を検証・評価しながら段階的に市全域のフルデマンド化を図る。

実施したフルデマンドバスの概要及びその結果

- 対象路線
 - ・ 北郷方面路線（北郷予約便）
 - ・ 野向方面路線（荒土・野向予約便）
- ※荒土・野向予約便は野向方面のみフルデマンド運行
- 実施時期 令和5年1月25日から開始
- 運行時間 両路線とも8:00～17:00
（朝及び夕方の定時路線は従来通り運行）
- 運賃 100円～200円（従来から変更なし）
- 利用方法 希望する利用時間の1週間前から1時間前までに運行会社に電話で予約。



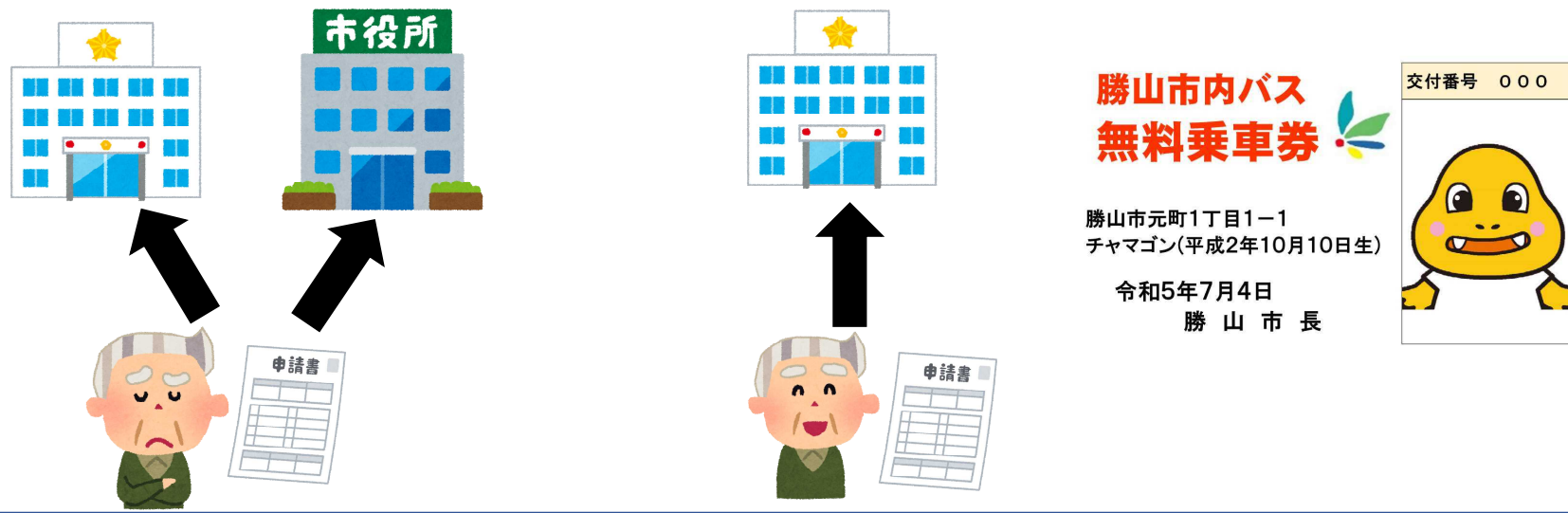
乗客の希望に合わせて移動

■ フルデマンド化の結果について

両路線ともフルデマンド実施後の方が利用人数が増加傾向にある。また、フルデマンドに関するアンケートでも、利用者の内86.3%は今後も利用したいと回答しており、高い満足度を得ている。

高齢者運転免許証自主返納支援事業における勝山警察署との連携 運転免許証返納とバス無料券申請のワンストップ化

- 事業概要** 勝山市では運転免許証を自主返納された高齢者の方に市内バスの無料乗車券（期限：無期限）を発行し、自動車を運転しなくなった方の公共交通機関利用を促進している。
- 取組要旨** 従来は運転免許証の返納手続きを警察署もしくは免許センターで行った後、返納時に発行される運転免許の取消通知書を持って市役所でバス無料券の申請を行う必要があったため2か所で手続きを行う必要があり、不便であるとの声があった。そのため、警察署で市内バス無料券の交付申請を受付できるようにし、警察署に行くだけで両方の手続きを行えるようにすることで、市民の利便性向上・免許自主返納及びバス無料乗車券の交付を促進する。
- 結果等** この取り組みは県下で初の取組で、取組実施後のバス無料券申請者35件の内22件がワンストップでの申請者で、過半数以上がこの取組を利用されている。また、定期的に市役所等で警察の免許証自主返納の臨時受付所を開設予定。



3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

勝山市地域公共交通計画の定量的な目標及び効果（R5.4～R6.3）

計画目標・評価指標・目標値		達成状況					考察
		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	
1 市民の日常生活を支える利用しやすい公共交通の実現	えちぜん鉄道市内5駅の利用者数 180,000人	144,741人	81,901人 ※R5.9時点				コロナ禍前の水準を基にした目標値には未達成。 R3年度の実績は118,714人であり、コロナ禍の影響は収まりつつある。
	コミュニティバスの利用者数 80,000人	54,662人	41,812人 ※R5.11時点				コロナ禍前の水準を基にした目標値には未達成。 R3年度の実績は46,756人であり、コロナ禍の影響は収まりつつある。
2 まちづくりや観光と連携した勝山の活力・魅力を高める公共交通の実現	公共交通カバー率 97.3%以上	97.3%	98.0% ※R5.11時点				フルデマンド化に伴いバス停を新設したことにより微増。目標は達成。今後も現況維持を目指す。
	転出者数 500人以下	513人	304人 ※R5.11時点				転出者数は令和2年度以降ほぼ横ばい。
3 多様な主体がともに考え、次世代へつないでいく持続可能な公共交通の実現	コミュニティバスの収支率 10.0%	5.52%	5.28% ※R5.11時点				目標値には未達成。高齢化により無料でバスを利用される方の割合が増えている（障がいや免許の自主返納）他、燃料費や原材料費が高騰している。
	公共交通への公的資金投入額 14,000円/世帯以下	20,779円 ※決算/世帯の額	21,201円 ※予算/世帯の見込額				燃料費等が急激に高騰しており、公共交通への補助も高額になっている。

3.【Check】計画の目標の達成状況とその理由についての考察

■ 地域公共交通計画確保維持改善事業の定量的な目標及び効果（R4.10-R5.9）★は国庫補助事業

年間利用者数	目標値	実績値	目標との比較	評価	前年度
★北郷予約便	4,350人	4,752人	402人	○	4,912人
★平泉寺・猪野瀬予約便	6,200人	3,666人	-2,534人	△	3,271人

■ 勝山市の公共交通網全体の定量的な状況（R4.10-R5.9）

利用人数（人）	R4.10-R5.9	R3.10-R4.9	R2.10-R3.9	前年度比較
えちぜん鉄道勝山永平寺線	1,276,389	1,186,791	1,077,697	89,598
京福バス勝山大野線	50,942	46,411	38,761	4,531
コミュニティバス10路線	63,395	52,998	43,703	10,397
恐竜博物館直通便	31,883	40,407	18,279	-8,524
市内観光バス	1,851	1,622	951	229

■ 状況考察

・新型コロナウイルス感染症の影響も収まりつつあり、各公共交通機関の利用者は回復傾向にある。しかしコロナ以前（H30.10～R1.9）はえちぜん鉄道が約140万人、コミュバスが約7万7千人、博物館直通便が約6万1千人となっており、以前の水準に完全に戻ったとは言えない。（※直通便に関しては博物館のリニューアル工事に伴う閉館があったため昨年より減少しているが、平均では上回っている）

・国庫補助対象の2路線ともに通学利用が多い便であり、北郷予約便は目標値を上回ることができたが、平泉寺線は観光や福祉施設への利用客が回復しきっておらず、前年度より増加しているものの、コロナ以前の水準から算出された目標値からは大きく下回った。

勝山市地域公共交通計画

目標（評価指標）	現在の到達点	今後の方針
1 市民の日常生活を支える利用しやすい公共交通の実現	利用者数は現時点で目標値に達していないが増加傾向にある。市内2地区でコミュニティバスのフルデマンド運行を開始した。	各公共交通の運行や利用助成等を継続しながら、コミュニティバス実施路線の増加、ダイヤや待合環境の改善等を実施していく。
2 まちづくりや観光と連携した勝山の活力・魅力を高める公共交通の実現	市内2地区でフルデマンド運行を令和5年1月25日から開始することに伴い該当地区でのバス停を新設。転出者数は令和2年度以降ほぼ横ばいとなっている。	バスの再編や停留所の見直し、通勤通学における公共交通の利便性向上、観光・宿泊施設等と公共交通の連携を図る。
3 多様な主体がともに考え、次世代へつないでいく持続可能な公共交通の実現	原材料費や燃料費等の高騰により収支率は悪化、公的資金投入額は増額となっている。	利用促進や効率的な運行携帯の検討により、財政負担の軽減を図る。

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前 回	<p>地域公共交通計画について、計画実施初年度であるものの、目標値と実績値の乖離が大きいため現状に合った見直し、協議会における評価の進め方、スケジュールを整理の上での目標、実施内容、実施結果に関する評価・分析を定期的に行いより良い公共交通ネットワークの再構築を目指すこと。</p>	<p>より良い公共交通ネットワーク構築を目指し、市内路線バスの内2路線で日中のフルデマンド運行を実施。また、フルデマンド運行への移行に伴い、新しくバス停を増設した。フルデマンド実施路線の地区を対象にアンケートの実施。</p>	<p>フルデマンド実施路線を段階的に増やし、市内全地区での日中のフルデマンド運行を目指す。フルデマンド運行路線の増加に伴いスムーズな予約・運行ができるようにシステムの導入を検討する。</p>
	<p>市内を運行する地域幹線系統のうち、輸送量が低迷している系統について、現状や問題意識を県・関係市町・関係事業者と共有するとともに、当該系統の必要性に応じ、利用促進や系統維持に向け、県や関係者と連携して取組を実施されるように期待します。</p>	<p>高齢者運転免許自主返納事業と連携し市内バスの運賃を無料とする事業の推進のため、警察と連携し手続きを警察署での返納の際に一括して行えるよう改善した。 県と連携し、路線バスの燃料高騰支援を実施。</p>	<p>廃線が検討されている地域幹線系統存続のため、県、関係市町、事業者と連携し、新事業者の選定や業務の移管等を進めていく。</p>
	<p>北陸新幹線開業に向け、開業効果が確実に生かせるよう、受け入れ体制について、整備等が着実に進められること</p>	<p>二次交通の充実のため、勝山駅の駐車スペースを活用してカーシェアの実施を検討。</p>	<p>県や事業者と情報交換等の連携を密にし、ふくいMaaSによる電子企画切符の造成等を検討する。</p>

前々回の評価等は次ページ

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前々回	<p>幹線系統勝山大野線の輸送量が減少傾向にあることから、現状や問題意識を関係者等と共有するとともに、利用促進や系統維持に向け、連携して取組を実施すること。</p>	<p>高齢者運転免許自主返納事業と連携し京福バスの運賃を無料とする事業を令和2年4月より継続して実施。令和3年度に引き続きバス・タクシー利用券配布事業を実施。高齢者や妊産婦、障がい者の方を対象に利用券を配布し、ワクチン接種や通院、買い物等に公共交通を利用してもらう取組を実施。 県と連携し、路線バスの燃料高騰支援を実施。</p>	<p>関係者等と協議しながら、現在の運行系統を維持していく。 バス通学費支援等の利用促進を通して、学生のバス通学を促進する。</p>
	<p>勝山と大野の観光地を結ぶバスの試験運行結果について、利用状況の検証をし、今後の取組に反映すること。</p>	<p>利用状況については、定期的に観光部署と情報共有をし、打ち合わせ等を実施。</p>	<p>今後の交通施策実施の際には、十分参考とする。</p>

※前回：令和5年2月17日、前々回：令和4年2月17,18,21日（送付のみ）

6.計画・評価の推進体制

■計画の進行管理

事業の推進や必要に応じた計画の見直しを行うため、計画の策定（Plan）、事業の実施（Do）、進行管理・評価の実施（Check）、評価結果を受けた見直し・改善（Action）を繰り返すPDCAサイクルによる計画の進行管理を行います。

■勝山市の年間スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
協議会			①						②			
		生活交通確保維持改善計画 事業の進捗報告等							自己評価の実施等			
主な行事等							新年度予算要求 ★			第三者評価委員会 ★		
実施すること		評価結果に基づいた 改善計画の検討 A			P	新事業・計画の検討等			C	実施事業の評価 C		
		D	事業実施（継続事業の他、フルデマンドバス実施地域の増加等）									
												A

【協議会の実施状況】

○令和5年度第1回 令和5年6月15日（木）
 主な議題：令和4年度実績報告
 令和6年度確保維持改善計画

○令和5年度第2回 令和5年12月15日（金）
 主な議題：令和5年度確保維持改善計画の自己評価